

NNNews 11月号

鹿行農林事務所 行方地域農業改良普及センター

Tel:0299-72-0256 Fax:0299-72-1690 担当 平松

農業学園実施状況

平成 29 年度行方地域農業学園開講式および第 1 回講座「先進事例研修」

平成 29 年 5 月 23 日（火）に平成 29 年度農業学園を開講しました。開講式には学園生 8 名が参加し、普及センター長から「これからの茨城の農業を支える担い手として、農業学園や今日お話を伺う経営士のような先輩農業者から多くのことを学んでほしい」と激励を受けました。

続く第 1 回講座では、地域の先輩である農業経営士から、就農のきっかけやこれまでの経緯などについての講話を聞きました。「常に問題意識を持って取り組む」「10 年続けて頑張ってみれば見えてくるものがある」等のアドバイスに対して、学園生はうなずきながら熱心に耳を傾けていました。講話の後には経営士の所有するライスセンターと圃場を見学しました。学園生はその規模の大きさに圧倒されたようです。学園生それぞれが自分のこれからについて考える良いきっかけとなったと思われます。



第 2 回講座「病害虫・農薬講座」

6 月 20 日（火）に第 2 回講座「病害虫・農薬講座」を開催し、学園生 14 名が参加しました。

「病害虫の基礎」の項目では、農薬の効果的な使用法として薬剤抵抗性の菌・害虫の出現を防ぐためのローテーション散布や化学的防除（農薬）に頼り過ぎない総合的病害虫・雑草管理（IPM）の重要性について講義を行いました。また、「農薬の基礎」の項目では、昨年度、管内で農薬残留事故が発生したことを受け、過去の残留事故事例の紹介、それらの主な原因と対策について説明しました。原因としてラベルの確認不足やドリフトによるものが多いため、農薬使用時にはラベルをよく確認する、風の強い日に農薬散布は行わないなど問題を未然に防ぐよう普及センターからアドバイスしました。講座前はローテーション散布について「行う理由が分からない」と答えていた学園生も講座後には「今後は意識したい」と話しており、農薬の適正使用について理解してもらえた有意義な講座となったようです。



第3回講座「環境保全講座」

7月19日（水）に霞ヶ浦環境科学センターで、行方、鉾田、土浦、稲敷の4地域合同で「環境保全講座」を開催し、他地域の農業学園生を含め17名が参加しました。

はじめに環境科学センター展示室を見学し、霞ヶ浦の歴史に関するビデオを見たり、流域情報や迅速測図について同センターの職員から説明を受けたりしながら霞ヶ浦の概要について学びました。

施設見学の後は、「霞ヶ浦の水質及び農業環境負荷について」というテーマで講義を受けました。霞ヶ浦流域は、他県と比べて農畜産用地の割合が高く、霞ヶ浦の水質汚染には農業が大きな影響を与えています。その対策として化学肥料及び化学農薬の削減や土壌診断に基づく適正施肥、畜産では家畜排泄物の適正な管理と堆肥の流通促進等が農地対策として挙げられます。同センターの職員からは生活排水や農業からの環境負荷は依然として高いため、できることから対策を実施してほしいと注意喚起がありました。

講座を終えて、学園生からは「霞ヶ浦の状況を知ることができ、環境保全へのモチベーションを得られた」「過剰施肥しないように気をつけたい」などの感想が挙げられ、霞ヶ浦の水質保全と農業の関係について考える良いきっかけとなりました。



～次回農業学園のお知らせ～

12月5日（火）農業機械講座

農作業安全や農業機械のメンテナンスに関する講義

農業機械操作の実習を行う予定です。

農業学園生募集中！

- ・新しく農業を始めた方
- ・少し前に就農したが、聞いてみたい話がある方
- ・普及センターってどんなところ？とお思いの方

ぜひ農業学園に来てみませんか？

内容は、皆様のご意見・ご要望を反映させていきたいと思っております。興味のある講座だけでも構いません。

お気軽にご参加ください！

